

発行所  
 埼玉よみうり地域サービスセンター  
 郵便番号330-0801  
 さいたま市大宮区土手町3-243-2  
 岡ビル3階  
 電話(048)640-3611代  
 F A X (048)646-0303  
 www.saitama-yomiuri.co.jp

注目の記事

- ◆加須・大利根GG春季大会 …… 2面
- ◆宮代・にぎわうこどもの居場所… 4面
- ◆雨でも楽しい展覧会特集 …… 6面

次号は7月15日に発行します

## 蓮田

# 田んぼで大きく育つ米と子ども

## 黒浜南小 5年生が学校応援団らと田植えに挑戦



泥にまみれて田植えをする児童ら(同校提供)

蓮田市立黒浜南小学校の5年生37人は6月2日、地域民の手ほぎきで昔ながらの手による田植えを体験しました。

「子どもたちに食のありがたみを感じてもらい、人への感謝の気持ちを育む」ことを目的に、毎年田植えを行っています。と中田泰広校長。地域と二体化した教育活動を目標としており、

晴天に恵まれたこの日、水を張った田んぼの中に子どもたちははだしで入ると「わー」「きゃー」と大はしゃぎ。田んぼを提供する同団の竹内昭一さんから「苗は5本ずつ取り、深過ぎず浅過ぎず垂直に植えよ」とアドバイスを受け、体験の開始です。

ほとんどの児童が初体験ということもあり、最初は慣れない泥の中で手つきも慎重に。それでもだんだんコツをつかむとペースアップし、泥だらけになりながら生き生きとした表情で田植えを染しみました。

村岡奈穂さんは「田植えを体験して農家の皆さんが大変な思いをしておられるのを知ることができて、米を作っていることが分かりました。今までは給食を残してしまうことがありましたが、ご飯に限らず野菜なども残さず食べるようにしたいです」と笑顔を見せます。

植木悠太君は「田植えは初めてだったので、応援団の方が教えてくれて、立てて植えるのもうまできました。田植えの大きさを知ってから、家の手伝いでお米を研ぐようになったと話してくれました。

中田校長は「子どもたちがこのように貴重な体験になったと思います。今後も地域の皆さんと一体となり、教育活動を行っていききたいと思います」と語りました。